

# ふみびと

第287号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

## 本を通じた 自分との出会い

### 手紙という一枚の刺繍

人には人の、自分には自分の人生がある。それぞれ別の道である。日々の生活に全力であればあるほど、今歩む道以外の道の存在に気が付きにくくなってしまふ。別の道を行く友人たちさえも自分の視界から消え去ってしまふ。今の状況を少しでも変えようと絞り出した勇気も周りに話すこと

なく自分の中で答えを出し壁をひたりに乗り越えていく。しかし、周りを見渡せば同じように様々な気がつければどんな本でも眺めるだけで楽しくなってくるような本好きになつていました。本を多く読むようになって感じたのは、読んだ本の積み重ねで自分の「言葉」が変わるということ。色んな言葉を知って、色んな表現を知って、それを気付かないうちに好きな言葉を拾うようになり、好きな文体を表すようになる。そうして自分が伝えたい「言葉」が生まれるよ

人の気持ちなり生き方なりを推し量ることに昔はもつと敏感であったが年を重ねるにつれて、良くも悪くも鈍感になりつつある。周りを見渡せば、お互い励ましあえる友となりえる人がたくさんいるというのに。そんな友の出会いを今まで以上に探していきたいと思つた。

### 隠れた思い



うな気がします。より自分の思いを正確に紡ぐことができる。そんな「言葉」が。

誰かに思っていることを伝えるのに話や文章が上手でなくてもいい。それでも自分の思いをより自分の思っているように伝えられたら、もつと大事な人たちとの繋がりを感じられるような気がしています。

手紙は言葉を選んで自分で自分の「言葉」を紡いでいく一枚の刺繍のようなもの。できあがって渡すものは上手なものではなくても、より渡したいものにしたものなのです。今日出会う本がいつかそんな思いを紡いでくれる一本の糸になるかもしれない。そんな風に本との出会いを楽しむのも面白いものです。

本を通じて少し新しい自分にも出合えるような気がして。

### 風にゆられて誰かに届け!

### 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ事務返信筒にのり封下まで流し交りです。



### 次回発送日

12月の発送日

12月2回目(31日)の発送は、年賀状などの郵便事情の影響を考慮し、お休みとなります。それに伴いまして、より多くのお手紙を回送できるように、通常15日の発送を12月18日(土)に変更させていただきます。

送りたいお手紙がある場合には、16日(木)までに事務局に到着するように、余裕をもってポストに投函するようにしてください。

年末の発送回数についてのよくあるお問い合せを別紙に記載しましたのでご覧下さい。

